

'12年度第1四半期決算



2012. 07. 31

増収増益決算（営業利益ベース）

国内住設がリモデル・新築ともに伸長、コストリダクションを計画通り推進

【国内住設事業】

- ・リモデル売上は、堅調な需要が続き、前年比＋9%
- ・新築売上は、新設住宅着工戸数の増加により前年比＋8%

【海外住設事業】

- ・米州事業は、市況の緩やかな回復の中で増収
- ・中国事業は、売上は引続き好調で増収、新工場の初期コスト等により減益

【新領域事業】

- ・セラミック事業は、調整局面が続いており、減収減益
- ・環境建材事業は、ハウスメーカー向けの建材売上が好調

・売上高：	2期ぶりの増収
・営業利益：	3期連続の増益
・経常利益：	3期連続の増益
・当期純利益：	3期ぶりの減益

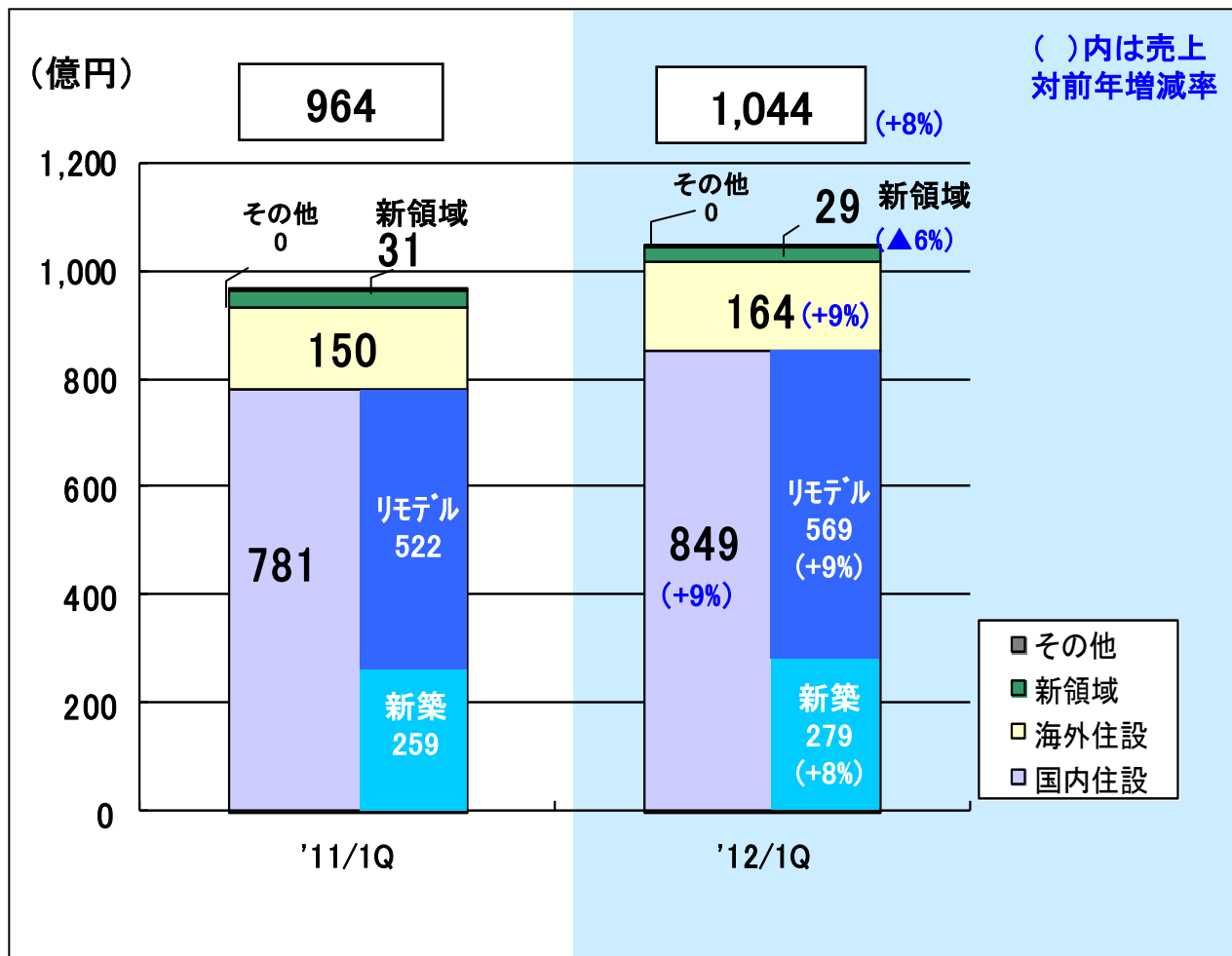
■P/L概要

単位：億円(未満は切り捨て)

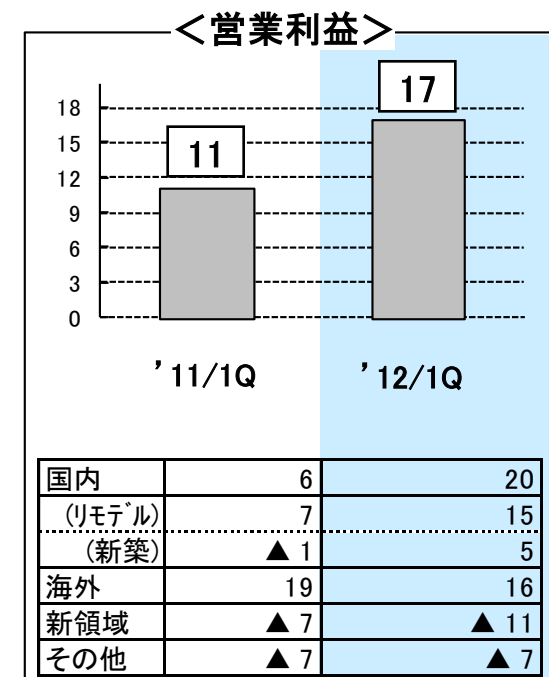
	'11/10 実績	'12/10		対前年増減 (増減率)
		計画	実績	
売上高	964	1,035	1,044	+80 (+8.3%)
営業利益	11	12	17	+6 (+54.0%)
経常利益	14	17	22	+8 (+53.1%)
特別損益	▲3	▲8	▲9	▲6
当期純利益	6	3	6	▲0 (▲8.2%)

売上・利益ともに計画を上回った

■需要分野別売上高



単位: 億円 (未満は切り捨て)



国内住設事業がリモデル・新築ともに伸長し、増収増益※

■国内住設事業の商品別売上高

単位:億円(未満は切り捨て)

	'11/1Q	'12/1Q	
	売上高	売上高	前年比 (%)
レストルーム計	310	324	+4%
水栓機器			+7%
浴室			+8%
キッチン・洗面			+7%
バス・キッチン計	436	467	+7%
その他計	55	75	+38%
合計(調整前) ※	801	867	+8%
国内住設合計	781	849	+9%

※ 調整前合計はセグメント間の内部売上高および振替高を含む

各商品とも好調

■海外住設事業の市場別売上高

	(単位:百万ドル) <現地通貨での業績>		
米州	'11/1Q	'12/1Q	増減率
売上高	47.1	50.2	+7%
営業利益	▲ 0.6	▲ 1.4	-
(為替 円/\$)	83.2	82.2	
	(単位:億人民币) <現地通貨での業績>		
中国	'11/1Q	'12/1Q	増減率
売上高	5.8	6.6	+13%
営業利益	1.5	1.5	▲5%
(為替 円/人民币)	12.7	13.1	
	(単位:百万ドル) <現地通貨での業績>		
アジア・オセアニア	'11/1Q	'12/1Q	増減率
売上高	37.3	37.2	▲0%
営業利益	4.3	0.7	▲83%
(為替 円/\$)	83.2	82.2	
	(単位:百万ユーロ) <現地通貨での業績>		
欧州	'11/1Q	'12/1Q	増減率
売上高	5.7	6.0	+6%
営業利益	▲ 2.2	▲ 1.7	-
(為替 円/ユーロ)	117.6	109.8	

(単位:億円)		
'11/1Q	'12/1Q	増減率
39.1	41.2	+5%
▲ 0.5	▲ 1.1	-

(単位:億円)		
'11/1Q	'12/1Q	増減率
73.7	86.0	+17%
19.4	19.0	▲2%

(単位:億円)		
'11/1Q	'12/1Q	増減率
31.0	30.5	▲1%
3.6	0.6	▲83%

(単位:億円)		
'11/1Q	'12/1Q	増減率
6.7	6.6	▲1%
▲ 2.6	▲ 1.8	-

(単位:億円)	合計	
'11/1Q	'12/1Q	増減率
150.6	164.5	+9%
19.8	16.6	▲16%

米州:市況の回復が緩やか。ブラジルへの投資もあり、増収減益
 中国:売上は引続き好調で増収、新工場の初期コストにより減益
 アジア:ベトナムの市況悪化、タイの工場初期コストにより減収減益

■営業利益の増減益要因

単位:億円(未満は切り捨て)

増減要因			'12/1Q 実績	
プラス 要因	コストリダクション	従前のコストリダクション	+ 9	+ 19
		Vプランコストリダクション	+ 10	
	リモデル売上高の増加		+ 16	
	新築売上高の増加		+ 6	
マイナス 要因	原材料の値上がり		▲3	
	海外住設損益		▲3	
	Vプラン投資(衛陶工場稼働による初期コスト等)		▲7	
	販売強化投資		▲8	
	労務費関連の増		▲3	
	販売価格の下落・ボリュームゾーンの拡大		▲4	
	その他		▲7	
合計			+ 6	

このプレゼンテーション資料は、2012年7月31日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。世界経済・競合状況・為替の変動等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予測と大幅に異なる可能性があります。

あしたを、ちがう「まいにち」に。

TOTO